

# 石のひっじ だより

## 平尾台の雪景色



大平山



**明けましておめでとうございます。**



去年は、たくさんの方にご来館いただきましてありがとうございました。今年も平尾台の自然を大切に、平尾台のすばらしさを伝えていくために頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

平尾台自然観察センター職員一同

### 【冬の使者到来】

一月遅れで冬が来たような感じですが、今年も冬の使者たちがやってくるようになりました。観察センターにも喧嘩っ早いことで有名(?)なジョウビタキが1羽やってきて周辺をなわばりにしています。このあたりでは「紋付き」とも呼ばれるこの鳥は気が強いことで有名で、観察センターに居ついたジョウビタキも御多分にもれず、自動ドアに写った自分の分身にいつもケンカを仕掛けています。この間なんか、来館者が来て飛び去るまで5分以上もついたり、体当たりしたり。本人(本鳥?)は必死なのでしょうが、みているとほのぼのとさえ感じる時間を過ごさせてくれています。



### ★イベント報告★

#### ～防火帯一周ハイキング～

11月23日(日)に防火帯一周ハイキングを開催しました。当日は、好天に恵まれ、絶好のハイキング日和。防火帯は、野焼きの延焼を防ぐために作られます。その防火帯をたどって参加者のみなさんとハイキングを楽しみました。参加者は、「天候がよく、見晴らしがいい。」とって景色を満喫していました。



### ★イベント報告★

#### ～天狗岩ハイキング～

12月14日(日)に天狗岩ハイキングを開催しました。気温は低かったのですが、天候はよく、ハイキング日和となり、約30名の参加者とハイキングをしました。天狗岩方面を歩くのは初めてという参加者が多くいて、「初めてのコースで眺めがよかった。」とって、新しい発見にとっても満足していました。



### バトロールだより

年末になると不法投棄のゴミが目立つようになりました。家庭の大掃除をして出たゴミを捨てに来るのでしょうか？違法行為を行っていることを自覚してほしいと思います。

### ★イベント情報★

#### ●アートフラワー講習会

平尾台の野の花を布切れと針金で作ります。  
開催日：1月16日(金)  
対象：10名(一般)  
(材料費：2000円程度)  
申込締切：1月10日(土)  
申込方法：往復ハガキ

#### ●冬の森を歩こう

草原も四季折々で姿を変えていくが、森の中はどのようなのだろう。  
開催日：1月25日(日)  
対象：20名(一般)  
申込締切：1月10日(土)  
申込方法：往復ハガキ

#### ●防火帯ハイキング

防火帯に沿って平尾台を歩いてみよう。  
開催日：2月15日(日)  
対象：20名(一般)  
申込締切：1月25日(日)  
申込方法：往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。  
※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。  
※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。



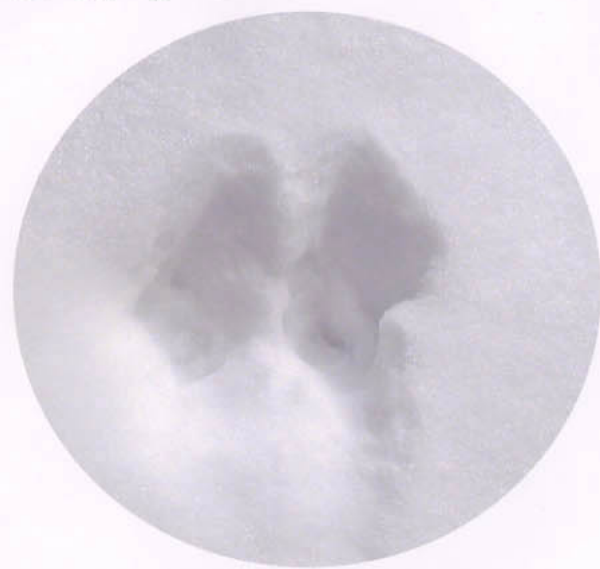
# 石のひつじ だより

NO. 42 平成16年 2月号  
〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区一丁目4番40号  
TEL093-453-3737 FAX093-452-3739  
ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp>

〈開館時間〉9:00～17:00  
〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

## アニマルトラッキング

### 何の足跡でしょう？



#### 【寒波襲来】

1月21日から25日にかけて日本列島は寒波にみまわれました。典型的な“なべ底寒波”と呼ばれる今回の寒波ですが、平尾台でも連日雪が降り続き、県道28号平尾台登山道も通行止めやチェーン規制の日が続きました。八幡の観測所で最高気温がセ氏0℃未満の真冬日を観測したのは、23年ぶりだそうです。



ところで観察センターの中庭は、四方が壁になっていて風が舞っている様子で中心部に雪が集まっています。さて、一番積もった所で何cmあったでしょうか？

(答えはひつじが知っているよ)

#### 【平尾台マメ知識】

##### 〈山歩き基本の服装(上着)〉

山は平地と違い、寒暖差・温暖差が極端である。薄手のウール、または化繊との混紡、開襟、長袖シャツがよい。暑いときは、オーバーブラウスに、ボタンをはずせば、風通しもよくなる。寒いときは、シャツの下に薄手のセーターを重ね着する。襟を立てれば、防風の効果もあり、寒さを防ぐ助けになる。

アニマルトラッキングの答え  
右：いのしし 左：うさぎ  
わかったかな？

## ★イベント報告★

### ～冬の平尾台散策～

16年1月12日(月)に冬の平尾台を開催しました。フィールドを歩きながら参加者と共に冬の自然観察を行いました。まずセンター駐車場でイチョウの木の観察や平尾分校グラウンドにあるアジサイの冬芽の観察。何人かの方は、ここで目が冬芽モードに入ったらしくイベント終盤までいろいろな樹木の冬芽が気になっていた様子でした。その他、防火帯でウサギのフンを見つけて実際に手にとったり匂いをかいだり。また小さな洞窟に入って石灰岩の溶食形態を観察したり。ただ当日は暖かく風穴の水蒸気が確認できなかったのが残念でした。それでも参加者は、「平尾台の自然について初めて聞くことが多かった。」「知らないことをたくさん学んだ。」など、今までよりさらに平尾台に興味を持った様子でした。



防火帯での観察風景



秋桜洞(風穴)の観察

## 平尾台クリーン大作戦！

### みんなで平尾台をきれいにしよう！

- ・開催日：地上の部：平成16年3月14日(日)  
地下の部：平成16年3月21日(日)
  - ・時間：10:30～15:30
  - ・定員：なし
  - ・申込締切：平成16年2月29日(日)
  - ・申込方法：電話、FAX、ハガキ
- ※詳しくは平尾台自然観察センターにお問合せして下さい。

たくさんのお応募をお待ちしております。

## ☆イベント情報☆

### ●アートフラワー講習会

平尾台の野の花を布切れと針金で作ります。  
開催日：2月20日(金)  
対象：10名(一般)  
(材料費：2000円程度)  
申込締切：2月13日(金)  
申込方法：往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

## パトロールだより

今年の冬は暖かく冬をあまり感じさせてくれなかったのですが、ついに先日、大寒波がやってきて平尾台にも大雪が降りました。パトロール車にもこんもり雪がつもり一面の銀世界。県道も通行止めになる始末。それでも年々写真家らしき人々の車が多くなってきて、早朝から車や人を結構見かけるようになりました。

答えは  
70cmだよ



# 石のひっじ だより

## 平尾台の景色



野焼き

野焼きの日程：16年3月7日（日）10時から15時半  
予備日：10日（水）、12日（金）、15日（月）  
平尾台自然の郷で午前10時～、午後1時～「野焼き見学会」があります。  
車両交通規制 時間：7時から16時 区間：県道吹上交差点から内ノ蔵  
平尾台自然の郷の前を通る市道110号を迂回すると、東谷から行橋は通り抜けできます。

### 平尾台に咲くかわいい花々



ノジスミレ  
花期：3月～4月

ナズナ  
花期：3月～6月



### 【平尾台マメ知識】

#### 〈山歩き基本の服装(ズボン)〉

長ズボンの裾の部分が始末するときは、スパッツまたはマジッククロス付きテープで処理するとよい。さらに、雨ぶた付きで深めのポケットが、両サイドとヒップについていると便利。ジーンズは伸縮性がなく、一度濡れると乾きにくいので、山歩きには向いていない。ストレッチ素材は機能的。乾きやすい化繊とウールの混紡、ジャージなどで、普段はきなれたズボンがあれば、それでよい。

### ■イベント報告■

#### ～防火帯ハイキング～

2月15日（日）に防火帯ハイキングを開催しました。野焼きの時に野焼き外への延焼防止の為に作られる防火帯。また、冬の乾燥時期は、枯れた草が燃えやすく山火事が多くなるシーズンです。その時の民家への延焼防止や広範囲の山火事防止の為に防火帯は前年の秋(10月～11月にかけて)作られます。

今回のイベントはその防火帯を中心にフィールドを歩き防火帯のもつ意味などを説明しながら参加者のみなさんとハイキングを楽しみました。

参加者のみなさんからは、「初めてのコースでも歩きやすく、防火帯の持つ意味もわかり勉強になった。」「平尾台の歴史や自然についてもボランティアガイドの方の説明が丁寧で、たいへん解り易かった。」といった感想をいただきました。後日、イベント参加者の1人から、お礼のハガキもいただきました(^-^)



### ☆イベント情報☆

#### ●アートフラワー講習会

平尾台の野の花を布切れと針金で作ります。

開催日：3月19日（金）  
(10:00～16:00)

対象：10名（一般）  
(材料費：2000円程度)

申込締切：3月12日（金）  
申込方法：往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。



### パトロールだより

あたたかい日が続く予感を感じてくれます。大地では、早くもホオジロたちが高い枝先に移動しはじめています。真っ黒だった防火帯もいつのまにか緑色が目立つようになってきました。耳をすませてみてください。春の足音が聞こえてきませんか？もうすぐ野焼きです。にぎやかな季節がすぐそこまで来ています。

# 石のひっじ だより

## 平尾台に咲くかわいい花々



ヒトリシズカ(センリョウ科)  
花期: 4月から5月  
生育地: 山地の林内



ホタルカズラ(ムラサキ科)  
花期: 4月から5月  
生育地: 山地の乾いた草地



シラン(ラン科)  
花期: 4月から5月  
生育地: 日当たりのよい山地



3月10日(日) 野焼き風景



3月27日(土) 野焼き後の風景

### 職員紹介

★ 2月まで平尾台自然の郷、キャンプ場で草ソリの貸し出しをし、小さなお客様から若さを頂戴していました。3月からは平尾台自然観察センターにまいりました。大自然の中で学ぶ事が沢山あるので毎日が勉強です。平尾台において下さった皆様方がよい思い出を創られ、再びカルスト台地に足をはこばれるよう努力致します。毎日パトロールをしていますので気軽に声をかけてね。



藤井 悟

★ 3月15日から平尾台自然観察センターで働く事になりました。自然が大好きで、山登りの折に野草、蝶、鳥、きのこなどの観察をしています。また、当センターのボランティア活動を2年間していました。これからは、平尾台を訪れる皆様と共に、平尾台の大切な自然を未来へ残せるように頑張ります。よろしく願い致します。



梶屋 博

## ★イベント報告★

### クリーン大作戦2004

(地上の部・地下の部)

3月14日に地上の部、3月21日に地下の部のイベントを実施しました。

地上の部では、約200名の方がイベントに参加し、3コースに分かれて(センター～吹上峠、センター～内の蔵、センター～茶ヶ床)、ゴミ拾いをしました。参加者のみなさんが一生懸命拾ってくれたゴミは4tトラック4台分もありました。

今年実施した地下の部では、約60名の方が青龍窟ケイビング班、洞口ホール班、広谷・洞口周辺班に分かれてゴミ拾いをしました。ゴミは軽トラ1台分。洞窟の中には、ひも類、缶、ビン、タイヤなどがありました。このイベントを通して、平尾台の自然をみなさんと共に大切に、守っていこうと思います。平尾台クリーン大作戦に参加されたみなさま、本当にありがとうございました。



地上の部の様子



地下の部の様子

## ★イベント情報★

### ●アートフラワー講習会

平尾台に咲く山野草を針金や布を使って作ります。

開催日: 4月16日(金)  
(10:00～16:00)

対象: 10名(一般)

(材料費: 2000円程度)

申込締切: 4月7日(水)

申込方法: 往復ハガキ

### ●平尾台若草ハイキング

麗らかな春の日差しを浴びて若草の中をハイキングしませんか。

開催日: 4月29日(木)  
(9:30～15:00)

対象: 30名(一般)

申込締切: 4月22日(日)

申込方法: 往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。



### パトロールだより

野焼き後の平尾台は、無数の石灰岩が林立し、カルスト台地がより鮮明にその姿を現しています。センボンヤリをはじめとした早春の花々も咲き始め、ヒバリやウグイスのさえずりもにぎやかになっています。もう春なのです! そんな小さないのちたちを大切に、そっと見守っていききたいですね。

# 石のひっじ だより

## 平尾台に咲くかわいい花々



ジャケツイバラ (バラ科)  
花期: 4月から6月  
生育地: 山野や河原



タカサゴウ (キク科)  
花期: 4月から7月  
生育地: 低地から丘陵地の草地



カノコソウ (オミナエシ科)  
花期: 5月から7月  
生育地: 山地の林縁の草地



キレイなお花だね。



## ★ 平尾台の虫たち ★

### テングチョウ (テングチョウ科)

越冬した成虫です。春の陽光を浴びてエネルギーを充填中? 食草はエノキです。



### シロオビナカボソタマムシ (タマムシ科)

クマイチゴの葉上で、いのちのリレー中。食樹はキイチゴ類。日本産タマムシの仲間130種以上もいるんです!



### ベニカミキリ (カミキリムシ科)

タンポポの花粉を夢中で食べています。幼虫はマダケやモウソウチク等の竹類を食べます。竹林面積が拡大している為、勢力を増大中?



## ★ イベント報告 ★

### ～平尾台若草ハイキング～

4月29日(木)に「平尾台若草ハイキング」を開催しました。老若男女あわせて35名、好天に恵まれ、若草香る大平山(586.5m)に登りました。

途中でタカサゴソウ、カノコソウ、ホタルカズラ等、平尾台ならではののお花がいっぱいでした。

茶ヶ床園地では、平尾台の誕生に関しボランティアの友枝さんからのわかりやすい説明があり、みんなびっくり。平尾台の自然を満喫できて、とても楽しいイベントになりました。

大平山をバックに記念撮影です



## ★ ボランティア活動 ★

平尾台自然観察センターを支えるボランティア活動状況

### ガイド研修

4月24日に浦田健作氏(カルスト学博士)によるフィールド研修(台上散策:地質/地形見所)を行いました。洞窟学会平尾台大会(8月)に向けガイド研修を行っています。



### 清掃ボランティア

野焼き後の草原には缶ビン等のゴミが良く目立ちます。ゴミは人間しか出しません。自然は自分たちの為だけでは無く、未来の子孫の為にあるのだという気持ちで、ゴミを拾っています。



自然が好きな方、大切にしたい方、大歓迎です。自然に学びながら観察センターのボランティアをしませんか?

### パトロールだより

春の野草が萌え出て、野焼きが行われた処とそうでない処ではコントラストの比があざやかで緑が日増しに濃くなって目が痛む様な風景です。農道の側辺をパトロールカーで移動する際、ひととき目立つオスのキジに出逢いますが、車で近づく場合はあまり警戒するようでもなく、逆に、私が観察されています。車を降りて近づこうとしますと「ケンケン」とふた声を残して飛び立ちます。多くの鳥にこのような現象がみられますが、どなたかこの現象についてお答え願えませんか?

## ★ イベント情報 ★

### ●アートフラワー講習会

平尾台に咲く山野草を針金や布を使って作ります。  
開催日: 5月21日(金)  
(10:00～16:00)  
対象: 10名(一般)  
(材料費: 2000円程度)  
申込締切: 5月9日(日)  
申込方法: 往復ハガキ

### ●名山登山

九州百名山の一つ、企救富士(貫山)に登りませんか。  
開催日: 5月23日(日)  
(9:30～15:00)  
対象: 30名(一般)  
申込締切: 5月9日(日)  
申込方法: 往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。  
※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。  
※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

### 【日本のシダ植物】

柏木内科医院の柏木順太郎氏より、全6巻の植物図鑑を寄贈していただきました。大変貴重な図鑑です。皆様大切にご利用ください!



## ★ 職員紹介 ★

4月から平尾台自然観察センター館長となりました宗です。この素晴らしい自然の中で好きな動植物や自然環境に関する仕事に従事できることは私にとってまさにそったく同時の感です。野焼き後のこの季節、平尾台のカルスト台地は新緑の中にヒツジの群れを想像させる見事な景観を見せています、この素晴らしい自然を残していく為にも自然環境保護の大切さを感じます。



センターは、単なる案内、休息の場ではなく、訪れた人々に平尾台の自然環境、生活や産業との関わりを学ぶ学習施設の役割を持っています。各月毎のイベントにつきましては多くのボランティアのサポートを得ながら、広く県民に自然の仕組みや自然公園利用マナーを学ぶ機会を提供し、より深く平尾台を理解して頂けるよう職員と一緒に努力してまいります。

今年の8月には日本洞窟学会が当地で開催される予定です。平尾台の洞窟探検は県民にとって大きな魅力の一つです。学会開催時に一般県民に対しての行事も計画がなされているようです。スムーズに運営されるようセンターとしても出来るかぎりサポートしたいと考えています。

平尾台の魅力ひとりでも多くの方に知って頂けることを願っています。どうぞ宜しくお願い致します。

# 石のひっじ だより

## 平尾台に咲くかわいい花々

キレイな  
お花だね。



トキソウ (ラン科)  
花期: 5月から7月  
生育地: 山地の湿原



ノハナショウブ (アヤメ科)  
花期: 6月から7月  
生育地: 山野の草原や湿地



ヤマツツジ (ツツジ科)  
花期: 4月から6月  
生育地: 山野

## ★ ボランティア研修 ★

### 安全研修

5月9日(日)にボランティアの屋部さんが講師となりザイルワークについて研修を行いました。ひもの結び方、確保の仕方、懸垂下降などを実際に行いました。今後のイベントに役立てて行きたいと思います。



**ガイド研修** 5月8日(土)にいのちのたび博物館の学芸員太田泰弘氏による「石灰岩の化石観察会」を行いました。午前中は北九州の地層や化石についてお話を聞き、午後からは実際に化石探しに行きました。そして博物館において、出土した化石を見学しました。皆さん太古のロマンに引き込まれ、大変熱心に聴き入っていました。

## いのちの輝き

広谷の水流で羽化したばかりの弱々しいいのち。サナエは漢字で「早苗」、水田に植える稲の苗のことです。田植え時期に多く出現するトンボなので、サナエトンボと呼ばれるようになりました。

### サナエトンボの仲間



## ★ イベント報告 ★

### ～貫山登山～



5月23日(日)好天に恵まれ総勢36名準備運動の後10時にセンターをスタート、平尾の森を抜け深窪でブッシュを掻き分けドリーネ覗き込む少しゾクゾク!

四方台の中腹で振り返りカルスト台地や周囲の山なみを展望、12時に頂上に到達。貫山ではその地質・地形・植生に関しカルスト台地との異なりについて分りやすく説明を受けました。

山頂の東には尾根づたいに水晶山が見え、沖の方に目をやれば広大な曾根干潟が静に広がっていました。帰路は、目にもあでやかな朱赤色のヤマツツジや白いツレサギソウの咲く中をカッコウの鳴き声を聞きながら春風薫る台上に、何気なく見過ごしていた自然の素晴らしさに出会えたと実感した一日でした。

センターには、2時50分に無事帰着しました。ボランティアの皆さんお世話になりました。

## ★ ノアザミの花と虫 ★

ノアザミは花粉や蜜を虫たちにご馳走します。そのかわりに花粉を虫たちに運んでもらい、受粉のお手伝いをしてもらいます。持ちつ持たれつの関係です。ノアザミに集まる虫の種類は多様です。チョウではアゲハ類、タテハ類、セセリチョウ類やモンキチョウ、アサギマダラ等、甲虫ではハナムグリ類やカミキリムシがやって来ます。また蜂の仲間も盛んに蜜を求めています。



アカタテハ  
(タテハチョウ科)



アゲハチョウ  
(アゲハチョウ科)



キタテハ  
(タテハチョウ科)

### ツヤケシハナカミキリ (カミキリムシ科)



## パトロールだより

5月17日以降カッコウのさえずりが心地よい平尾台です。先日そのカッコウのなわばり争いを目撃しました。一羽のオスが電線で鳴いていると、別のオスがやってきて、追いかけてお互いに鳴いているのです。写真はその時のカッコウが電線にとまっている時の様子です。



## ★ イベント情報 ★

### ● アートフラワー講習会

平尾台に咲く山野草を針金や布を使って作ります。  
開催日: 6月18日(金)  
(10:00～16:00)  
対象: 10名(一般)  
(材料費: 2000円程度)  
申込締切: 6月9日(水)  
申込方法: 往復ハガキ

### ● 平尾台の野花も見いこう

平尾台に咲く山野草の散策。  
開催日: 6月27日(日)  
(9:30～15:00)  
対象: 30名(一般)  
申込締切: 6月13日(日)  
申込方法: 往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

# 石のひっじ だより

## 平尾台に咲くかわいい花々

いろんな  
花が咲く  
んだね。



カワラナデシコ（ナデシコ科）  
花期：6月から9月  
生育地：山野の草地



キキョウ（キキョウ科）  
花期：7月から8月  
生育地：山野の草地



コオニユリ（ユリ科）  
花期：7月から9月  
生育地：山野

## ★ ボランティア活動 ★

### 堅穴探検研修（洞窟学会平尾台大会予行）

6月13日（日）九大探検部OBの田中賢治氏による「堅穴探検研修」を平尾台自然の郷で実施しました。午前には野外音楽堂の壁を利用した基礎訓練を行い、午後からはドリーネデッキの'はる穴'で実際に堅穴を上り下りする訓練を行ないました。観客もあり、皆さん真剣に取り組んでいました。



### 草刈りボランティア

平尾台の散策道をボランティアの皆さんで草刈りをしています。草刈機と鎌を使い、少しずつ刈っています。草刈は、6月と9月に行ないます。ずいぶん歩きやすくなりました。

### パトロールだより

周防台から桶ヶ辻の稜線を徒歩によるパトロール中、四輪駆動車の乗入れ痕を発見しました。車を乗入れると草花が踏み倒され、雨水により轍（わだち）に沿った土砂の流失等の自然破壊を招きます。車には、バイクやマウンテンバイク等も含まれます。皆さん、思いやりの気持ちを持って自然と接してくださいね！



## ★ イベント報告 ★

### ～ アートフラワー教室 ～



可憐な野の花が咲く平尾台の魅力を多くの皆さんに知っていただき、この豊かな自然を次の世代に残したい！そんな思いから従来のアートフラワーから野の花を中心としたアートフラワーに変更後はや10年になります。



背景の生態ジオラマ内草花は山岸先生と受講生の皆さんによる力作です。

春から秋の花の季節には、週に2回は台上を散策し、お気に入りの花を細かくスケッチし、写真も撮り、これらをもとに1枚1枚布を染め、こたえで花に表情をつけていきます。出来上がると、もう一度足を運び、本物と見比べ次回へのステップアップへ……。こうして出来た花がすでに100種以上になります。花の数とともに平尾台への思いが深まっていくことを信じこれからも作り続けていくつもりです。

（山岸 三代子）

\*講師の山岸先生には当センター開館以来、自然環境保護への関心を、いつも盛況な講習会を通して普及して頂いています。

### 可愛い来館者

先日、センターにやって来たかわいい虫です。カメノコ TENTU 虫とって、日本では最大級のテントウ虫で、体長が10mm程あります。模様が亀の甲に似ていますね。クルマハムシの幼虫を食べて大きくなるそうです。



## ★ イベント情報 ★

### ● アートフラワー講習会

平尾台に咲く山野草を針金や布を使って作ります。  
開催日：7月16日（金）  
（10:00～16:00）  
対象：10名（一般）  
（材料費：2000円程度）  
申込締切：7月7日（水）  
申込方法：往復ハガキ

### ● 名山早朝登山

貫山（企救富士）から朝日や早朝の風景を眺めてみませんか。  
開催日：7月25日（日）  
（4:30～11:00）  
対象：30名（一般）  
申込締切：7月11日（日）  
申込方法：往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。  
※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。  
※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

## 洞窟学会平尾台大会

大会日程：8月20日（金）～22日（日）  
開催地：福岡県平尾台  
主催：日本洞窟学会  
共催：北九州市教育委員会  
後援：福岡県、県教育委員会、北九州市、  
苅田町教育委員会、行橋市教育委員会、  
平尾町内会ほか  
会場：新道寺小学校平尾分校  
平尾台自然の郷  
平尾台自然観察センター  
申込先：平尾台大会事務局  
Eメール：[ssj@hiraodai.jp](mailto:ssj@hiraodai.jp)  
詳細：日本洞窟学会ホームページ  
<http://www.netlaputa.ne.jp/~ssj/index.html>

# 石のひっじ だより

## 平尾台に咲くかわいい花々



オオキツネノカミソリ(ヒガンバナ科)  
花期: 7月から9月  
生育地: 山地の林内

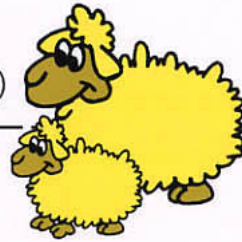


サギソウ(ラン科)  
花期: 8月  
生育地: 山野の日当たりのよい湿地



ノヒメユリ(ユリ科)  
花期: 7月から8月  
生育地: 山地の草原

いろんな花が咲んだね。



## ★ ボランティア活動 ★

### 石灰岩のコケ観察会(洞窟学会ガイド研修)

7月4日(日) 広島大学の田中敦司氏によるコケ観察会を実施しました。午前中は青龍窟や広谷湿原でコケを観察し、午後からはセンターにて、コケを顕微鏡でじっくり観察しました。日頃余りにしていなかったコケの生態や仕組みについて学び、また新たな視点で自然に接する事が出来ます。



## これって芽キャベツ?

シラヤマギクの葉の上に咲いた緑の花? まるでハナイカダのような格好ですが、いったいなんなのでしょう? 答えは虫こぶです。虫こぶはタマバチやタマバエ、アブラムシ等が葉や芽に卵を産んだり汁をすったりすると出来ます。葉や茎が縮んだり、コブ状になります。植物の種類や時期によって虫こぶの形も様々です。写真はシラヤマギクタマバエによるものでシラヤマギクカワリメとも呼ばれています。平尾台の草原や森の草木をよーく見るといろんな虫こぶがあり面白い!



## パトロールだより

☆貫山より水晶山へ抜ける悪路(防火帯道)に入り込み身動きが取れなくなって放置されたシボレー。道は雨水で削れ崩壊している個所が多く、四輪駆動車でも通行が厳しい個所があります。非常に危険ですから、皆さん入らないようにしましょう。  
☆自然公園内での花火はやめましょう! 火気使用は禁止されています。



## ★ 日本洞窟学会第30回大会(平尾台大会) ★

日本洞窟学会は洞窟の科学研究と洞窟探検をおこなう全国組織です。本部は山口県秋吉台科学博物館、事務局は北九州市の「いのちのたび博物館」にあります。毎年一回、全国の洞窟地域で大会を開催していますが、今年は北九州市教育委員会との共催で、8月20日(金)～22日(日)に平尾台で第30回大会を開催することになりました。自然観察センターのスタッフやボランティアのみなさんに手伝っていただき、平尾台の洞窟での探検や地質、生物、古生物、地下水などの調査講習、ハンガリーの洞窟についての講演会、平尾台の自然保護についてのシンポジウム、洞窟映像ショー、洞窟写真コンテストなど、平尾台と洞窟の魅力を満喫するたくさんの行事を準備しています。詳しい案内は平尾台自然観察センターや平尾台自然の郷にあります。また日本洞窟学会ホームページに掲載していますのでご覧ください。平尾台と洞窟に興味を持つたくさんの方の参加をお待ちしています。

平尾台大会実行委員長 満田健作



平尾台大会事務局 〒803-0180  
福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40  
福岡県平尾台自然観察センター内  
電話 093(453)3737 FAX: 093(452)3739  
問合せ・参加申込専用メール [ssj@hiraodai.jp](mailto:ssj@hiraodai.jp)

## 公開行事

- 会場展示(新道寺小学校平尾分校 体育館)  
8月21日(土)9:00-16:00、8月22日(日)9:00-12:00  
(1)ポスター展示(学術講演)(2)洞窟学会展示(3)洞窟グッズ販売
- 洞窟写真コンテスト(平尾台自然観察センター)  
8月21日(土)9:00-16:00、8月22日(日)9:00-12:00  
公募した洞窟写真を展示します。
- 映像ショー(平尾台自然観察センター)  
8月21日(土)、22日(日)9:00-15:00  
『驚異の洞窟の世界』(東京スペレオクラブ制作)
- 初心者のための洞窟探検(平尾台センター・青龍窟)  
8月21日(土)9:00-16:00  
対象 小学生以上(小学生は保護者同伴)定員30名  
参加費 大人1,500円、高校生～小学生1,000円
- 洞窟救助公開模擬訓練(自然の郷)  
洞窟で事故が起きた場合を想定して、その救助技術の訓練をします。

日本洞窟学会ホームページ  
詳しい案内が載っています  
<http://www.netlaputa.ne.jp/~ssj/index.html>

- 記念講演会(新道寺小学校平尾分校 体育館)  
8月22日(日)12:30-13:30『ハンガリーのカルストと洞窟』  
講演者 ラースロ・ザンボ教授  
(ハンガリー、エオトバス・ロランド大学自然地理学科)
- 公開シンポジウム(新道寺小学校平尾分校 体育館)  
8月22日(日)13:30-15:30『平尾台の自然保護と環境教育』

## 学会行事

- 洞窟学講習・洞窟探検【学会行事】  
8月21日(土)9:00～16:00 洞窟学の専門分野別講習と洞窟探
- 洞窟学シンポジウム(新道寺小学校平尾分校 体育館)  
「日本に洞窟ヒストプラズマ症はあるか?」  
8月20日(金)16:00～18:00

## ★ イベント情報 ★

### ●アートフラワー講習会

平尾台に咲く山野草を針金や布を使って作ります。  
開催日: 8月27日(金)  
(10:00～16:00)  
対象: 10名(一般)  
(材料費: 2000円程度)  
申込締切: 8月18日(水)  
申込方法: 往復ハガキ

### ●石灰石鉱山見学会

石灰石は私たちの生活の中にどのように使われているのか?  
開催日: 9月11日(土)  
(10:00～12:00)  
対象: 10名(一般)  
申込締切: 8月29日(日)  
申込方法: 往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。  
※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。  
※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。



# 石のひつじ だより

## 平尾台に咲くかわいい花（ヒナノキンチャク）

ヒナノキンチャク（ヒメハギ科）

花期：7月から10月

生育地：山野の草地

可愛い  
お花だね。



『ヒナノキンチャク』は、高さが7cmから15cmのとても小さな花です。

名は、小さな実の形を雛の巾着に見立てたもの。ヒナノキンチャクは石灰岩地質を好むので、石灰岩の周りによく見られます。北九州地域の二次草原に数カ所の生息地があるだけの極めてまれな植物です。

この野草を見たときは、写真で見たのに比べると、とても小さかったのと、花の色もキレイで可愛いなと思いました。

## ★ 夏眠をするむし ★

蝶の仲間には、盛夏に休眠をするものがあります。平尾台を代表する草原性のヒョウモンチョウの仲間達も休眠します。初夏に羽化した成虫は7月中旬から8月にかけて、一年でもっとも暑い時期に姿を隠します。そして涼しくなった初秋に活動を開始し、産卵をします。食草はスミレ類です。休眠中何処にいるのかなどの生態はよく分かっていないようです。平尾台では、他に休眠をする蝶としてエノキを食草とするヒオドシチョウが見られます。どちらもタテハチョウの仲間です。



## パトロールだより



盛夏の中で元気に飛び回っているのがジャノメチョウです。パトロールをしていると、路上に止まっている蝶をひきそうになる程たくさん見かけます。平尾台のような明るい草原に生息し、主な食草はススキです。各種の花や樹液、排泄物にも集まります。オスの地色は黒褐色、メスが茶褐色でより大きく眼状紋も大きい。卵は地上に放卵し、地表でさなぎになるそうです。

## ☆ イベント報告 ☆

### ～ 貫山早朝登山 ～

7月25日（日）に「貫山早朝登山」を催行しました。朝は雲が多く、日の出を見ることが出来ませんでした。涼風と夏の草花に皆さんとても感動していました。「貫山は北九州の軽井沢だ。」と冗談が出るほどでした。

四方台への稜線にはカワラナデシコの群生があり、コオニ



ユリ、ヒオウギ、ノヒメユリ、キキョウと切れ目なく花が咲き乱れ、「こんなに平尾台に花が多いとは！」と驚きの声を挙げていました。特にキキョウの群生地は圧巻で、花に見とれてしまいました。平尾台のファンがまた増えたようです。

## ★ コンクリートストロー ★

観察センターの一階出入り口上部に、センター指定非天然記念物のコンクリートストローがあります。長さは4cmほどです。センターが開館して4年が経過していますので、単純計算で1年に1cm成長しています。通常、鍾乳洞内のつらら石は1年に1mmほどですからざっと10倍の成長速度です。200～300年後に観察センターがあるとなれば、完全に上下がつながり石柱となるかもしれません？写真の右上がストローです。右下は、フローストーンでしょうか？数年すると石筍が出来ているかもしれません。



コンクリートストロー



フローストーン？



## ☆ イベント情報 ☆

### ●アートフラワー講習会

平尾台に咲く山野草を針金や布を使って作ります。

開催日：9月17日（金）  
（10:00～16:00）

対象：10名（一般）  
（材料費：2000円程度）

申込締切：9月8日（水）

申込方法：往復ハガキ

### ●ラクダ山ハイキング

ラクダ山（通称）周辺のハイキング。

開催日：9月26日（日）  
（9:30～15:00）

対象：30名（一般）

申込締切：9月12日（日）

申込方法：往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

# 石のひっじ だより

## 平尾台に咲くかわいい花（ムラサキセンブリ）



ムラサキセンブリ(リンドウ科)

花期：10月から11月

生育地：山野の草地

ムラサキセンブリは、センブリの仲間二年草です。山焼きや、草刈りをしない放置された草地では生息環境が移り変わり、それに伴って減少しています。茎は高さ20㎝～60㎝。葉は、線状披針形で長さが2㎝～4㎝あり、やや密に対生します。花は、暗紫色です。とてもキレイな花で、平尾台に比較的多く咲いています。センブリや、イヌセンブリなども同じ時期に咲きます。今年も、ムラサキセンブリが平尾台の草原を彩るでしょう。

キレイなお花だね。



## ★ 草刈りボランティア ★

6月に続き、9月もボランティアの皆さん（登録17名）の力をお借りして、平尾台の散策道の草刈りを行なっています。散策の方が安心して歩けるように、また散策道からそれないように道をハッキリさせて、動植物の保護に役立てる事を目的にしています。6月に刈った草は、夏の日差しと雨でぐんぐん伸びていました。ボランティアの皆さんは、滝のような汗をかいて、生き活きと黙々と作業をしています。



## ★ 第30回洞窟学会平尾台大会報告 ★

8月20日～8月22日にかけて、新道寺小学校平尾分校をメイン会場にして行なわれ、延べ参加人数は千人を越えました。観察センターは、写真コンテストと映像ショーの会場となりました。ボランティアの方々と4月から洞窟学会に向けて地質・地形、コケ植物、ケイビング等の研修を積み重ね、8月21日の洞窟探検では皆さんすばらしいサポートをして頂きました。大変有難うございました。



狩猟者と思われる車を近頃よく見かけます。自然公園法では特別保護地域での鳥獣捕獲禁止、鳥獣保護法では鳥獣保護区域での猟犬の訓練禁止となっています。平尾台は、両方とも該当します。



又、猟犬だけでなく、犬の散歩においても、首輪をしてひもをもって（係留）いないと条例違反になります。犬の野生本能は、野鳥やノウサギを追いかけてしまいます。他人に迷惑をかける行為をしないのはもちろんですが、自然を大切にする気持ちを持って、平尾台で楽しい時間を過ごして欲しいと思います。 **パトロールだより**

## ☆ イベント報告 ☆ ～ 石灰石鉱山見学会 ～

9月11日（土）天気は生憎ガスってかつ強風、実施も危ぶまれましたが、住友大阪セメント（小倉興業（株））から、案内の職員2名が四輪駆動車でお出迎えに来館。現地出発前にまずレクチャー、採掘技法の変遷・地質鉱床・破碎選鉱等初めて聞く用語に興味津々でヘルメットをかぶり見学者13名いざ出発。

鉱山は、観察センターから5分程度の以外に近いところにあり、切羽が見通し出来る標高450mの地点から50m下の採掘現場（東京ドームの3倍）が間近に見え原石の積込運搬に、巨大な重機が活躍していました。全国の石灰石算出量の内、九州（福岡県・大分県・熊本県等）ではその内3割を関東地区が2割を算出しているとの事でした。なお当地の石灰石は品質の良いものが出るそうです。平尾台における産業活動の一端を学ぶこの機会を得られた事に関し参加者一同から会社側に“有難う”の声しきり、鉱山を後にした！



## ★ によきによき「きのこ」ワールド ★

今年の夏は暑く、最近台風や秋雨前線の影響で雨も程よく降り、生育条件が良いせいか、きのこがあちこちに顔を出しています。日本産のきのこは名前がつけられていないものを含めると約5,000種類もあるそうです。きのこの成長過程は、「孢子」（植物の種に相当）→「菌糸体」（根茎）→「子実体」（花）となります。子実体（しじつたい）を通常きのこと呼んでいます。きのこは栄養の取り方によって、腐生菌（枯木や落ち葉等の有機物を分解：ハラタケやシイタケ等）、寄生菌（生きた動植物や他の菌類に寄生：ナラタケや冬虫夏草等）、菌根菌（植物の根に菌根を形成し、乾燥防止や窒素やミネラル分の供給等を行ない、植物からは炭水化物等をもらう共生関係：マツタケやサクラシメジ等）があります。きのこは森の掃除屋という一面と、植物の生長を助けるという一面があり、自然の中では非常に大切な役割を果たしています。写真のきのこ（子実体）はどんな役割を果たしているのでしょうか？



マントカラカサタケ（ハラタケ科）



ノウタケ（ホコリタケ科）



ヒラタケ（ヒラタケ科）

## ☆ イベント情報 ☆

### ●アートフラワー講習会

平尾台に咲く山野草を針金や布を使って作ります。

開催日：10月15日（金）  
（10:00～16:00）

対象：10名（一般）  
（材料費：2000円程度）

申込締切：10月12日（火）

申込方法：往復ハガキ

### ●平尾台秋風ハイキング

爽やかな秋風を感じながらススキの中を歩こう。

開催日：10月24日（日）  
（9:30～15:00）

対象：30名（一般）  
申込締切：10月12日（火）

申込方法：往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

# 石のひっじ だより

## 平尾台に咲くかわいい花 (リンドウ)



リンドウ(リンドウ科)

花期: 9月から11月

生育地: 山野の草地

草原に生える多年草。二次草原や、山地稜線草地などに生息します。多数個体が生息している場所もあるけれど、草原の遷移、園芸用の採取などにより個体数が減少。茎は、高さ20～100cm。茎頂および上部の葉腋に1個～多数の花をつけます。

リンドウは、平尾台一帯で、よく咲いているのが見られます。青紫色のキレイな花で、今の時期、平尾台を鮮やかに彩っています。

キレイなお花が咲いてるんだね。



## ★ 防火帯の草刈り (輪地切り) ～野焼き準備 ★

毎年2月下旬から3月上旬にかけて、平尾台の草原維持のために野焼きが行なわれます。以前は、主に農耕用牛馬の飼料として採草していましたが、近年は農業形態の激変で採草の必要性がなくなり、害虫駆除、財産保全、山林への延焼防止、景観保持が主な目的です。

野焼きが行なわれなくなるとススキやネザサがはびこり、森林に移行してゆきます。背丈の低い草原でしか生きていけないオキナグサやセンブリ、ウメバチソウなどの植物は野焼きが無くなると生息が危うくなります。絶滅危惧種の多くは、平尾台のような里山(人の手が加わる事で維持されている自然)に生息しています。

防火帯の総延長7,240m、野焼き面積は330ヘクタール(天然記念物、国定公園特別保護地域の範囲)です。今年は9月25日より草刈りが始まりしました。防火帯の役割は、野焼きの時に延焼しないようにする為です。地域の方々の並々ならぬ労力で、毎年野焼きが行われています。



## 道標のつづやき

観光のさまたげにならないように、皆様のアシスタントとして立っています。落書きやら、私の向きを勝手に変えないで下さいね。天候悪化の時は、私だけがあなたの味方になります。そこで、お願い!道標等の破損、文字が薄くなっていることにお気づきの方は、平尾台自然観察センターまでお知らせください!



## ☆ イベント報告 ☆ ～ ラクダ山ハイキング ～

9月26日(日)にラクダ山ハイキングを実施しました。天候は、曇り。濃霧の中で周りの景色は全く見えなかったけれど、イベント参加者とラクダ山山頂を目指しました。途中、オミナエシやサイヨウシャジンなどの花が見られ、歩くこと40分程でラクダ山山頂に到着!!休憩をした後、産須根の穴(鍾乳洞)に向かいました。産須根の穴は、総延長42m。その中の10mを見学しました。参加者のみなさんは、興味津々で中に入り、見学していました。

参加者アンケートでは、「初めてのコースで楽しく過ごせた。」という声が多く、「洞窟も初めて。」という方が結構いました。平尾台の違った景色を見られて、とても満足している様子でした。



## ★ にょきにょき「きのこ」ワールド2 ★

～ 形も色もいろいろ ～

見晴台への道ばたに生えていた。長さが5cm位のへんてこな形のキノコですね。シロソウメンタケ科のキノコです。近くには黄色いソウメンタケの仲間も生えていました。



### スッポンタケ

神社の森で見つけました。スッポンの頭に似た黒っぽい粘液化した部分(グレバ)は、悪臭を放ちハエなどの虫を呼び寄せ、胞子を運んでもらいます。キヌガサタケも同じスッポンタケ科です。



ベニナギナタダケ?

## ★ イベント情報 ★

### ● アートフラワー講習会

平尾台に咲く山野草を針金や布を使って作ります。

開催日: 11月19日(金)  
(10:00～16:00)

対象: 10名(一般)  
(材料費: 2000円程度)

申込締切: 11月12日(金)  
申込方法: 往復ハガキ

### ● 平尾の森で再発見

生き物たちの生活をみてみよう。

開催日: 11月28日(日)  
(9:30～15:00)

対象: 30名(一般)  
申込締切: 11月12日(金)

申込方法: 往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

イグチ科のキノコの髷は管状(管孔)になっておりスポンジのような感じです。神社の森で見つけたこのきのこの傷口は青く変化していました。傘の径が15cmもあり色鮮やかでした。ベニイグチかな?



イグチ科のキノコ

# 石のひっじ だより

## 平尾台に咲くかわいい花（シマカンギク）



かわいくて  
キレイな花  
だね☆

シマカンギク(キク科)  
花期：10月から12月  
生育地：山野の草地



山地や日当たりのよい場所に生える多年草。茎の下部の長さは、25センチ～100センチになります。頭花は、2.4センチ～2.6センチ。筒状花は、黄金色で中央に密集しています。平尾台では、散策歩道の側でよく見かけます。花の色がとてもキレイなので、平尾台の草原を一層ひきたてているようです。花期は、秋から冬までなので散策時に探してみてください。この花が終わると平尾台も本格的な冬を迎えます。

## 平尾台のソバ収穫

今年は、度重なる台風の影響で、3回の種まきをし、やっと11月12日に収穫・刈干しが出来ました。平尾台のソバ刈干し風景がアレ?と思われませんか。そう！普通は実を下にしていますが、当地では逆です。それは、壱岐対馬からの移住者によって伝えられたもので、玄海灘の強い風で、実が落ちないように自然乾燥させる手法です。したがって平尾台と壱岐対馬地方でしか見る事が出来ないそうです（地元の方より）。



## これなーに？

芳ヶ谷の先の森に人知れず横たわっていた直径が4cm程の、この物体の正体は？カキのへた？それともクラゲ？

答えはキノコ。ツチガキの仲間です。似たものにツチグリなどが有ります。キノコの形には様々なものがありとても面白いですね？



## 危険！不動洞ケイビング

複数の強い台風の暴風雨により、洞口手前右岸（左側）の崖が幅4m高さ5mに渡って崩壊しています。他にも小さな崩壊があり、入口の水位も上がっています。入洞される方はくれぐれも慎重にお願いします。ケイビング届を必ず出して下さいね。

## ★ イベント報告 ★

### ～ 平尾台秋風ハイキング ～

10月24日（日）は絶好のハイキング日和となりました。ボランティアの皆さんが主体となって、コース・見所・フィールドマナーの説明や準備体操を行い出発しました。

足元には、リンドウ、ムラサキセンブリ、ウメバチソウといった秋の草花が今を盛りと咲いていました。

秋風も心地よく、周囲の山々もよく見え、今回のサブテーマである帰化植物（セイタカアワダチソウやセンダングサ等）についても、進入経路やその影響などについて一緒に考えてみました。

午後からは防火帯の野焼きも見られ、草原維持の為の地元の方々の努力やこの草原で細々と生きている絶滅危惧種についても考えてみました。

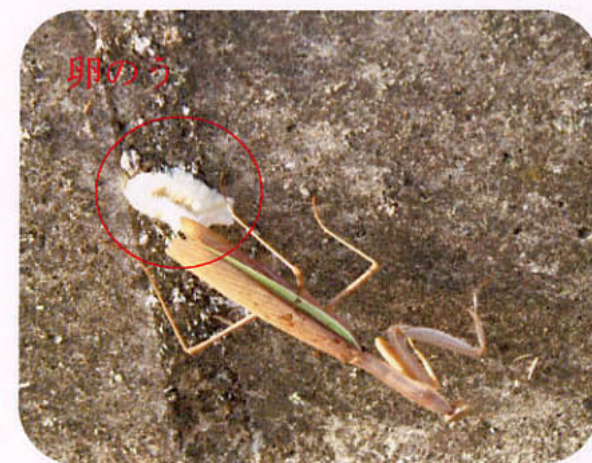
参加者全員（28名）で桶ヶ辻をバックに風神山で記念撮影。5才の女の子から67才の男性まで幅広い参加でした。程よい運動量で、ゆっくり秋の草花の観察が行なえ、楽しい一時が過ぎたようです。



## ★ カマキリの産卵 ★

秋も深まると、カマキリは子孫を残す為に産卵をおこないます。右下の写真は、オオカマキリが、岩に卵を産み付けているところです。卵を生む時は頭を下にして、お尻の先から泡のようなものを出し、その中（卵のう）に約200個の卵を産み付けます。卵を産み終えた母親は、間もなく死にます。泡は固まりますが、中に空気が含まれている為、寒さや雨水から卵を守ってくれます。五月頃、卵から前幼虫という形になって、卵のうから出てきます。そして脱皮をしてかわいい幼虫になります。それから6,7回脱皮を繰り返して、夏に成虫になります。

パトロール中、道路を歩いているお腹の大きなカマキリをよく見かけます。轢かないように気をつけています。



## ★ イベント情報 ★

### ●アートフラワー講習会

平尾台に咲く山野草を針金や布を使って作ります。

開催日：12月17日（金）  
（10:00～16:00）

対象：10名（一般）  
（材料費：2000円程度）

申込締切：12月8日（水）  
申込方法：往復ハガキ

### ●天狗岩ハイキング

すばらしい眺めの天狗岩へハイキングしませんか。

開催日：12月19日（日）  
（9:30～15:00）

対象：30名（一般）  
申込締切：12月8日（水）

申込方法：往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。